

教科	科 目	単位数	学年・クラス
商業	情報処理	3	2年 地域探究コース

1 使用教材

使用教科書	最新情報処理 新訂版 Advanced Computing
出版社	実教出版
副教材等	
出版社	-

2 学習の目標

- 1 情報処理機器の利用及び活用に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- 2 情報の収集、処理の方法をもとに、情報活用に関する興味・関心を高める。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習状況の観察	B	B	A	発表、振り返りシート
提出物	C	B	A	毎時間の課題
ペーパーテスト	A	A	C	定期考査、確認テスト
検定試験	A	B	C	全商ビジネス文書実務検定、全商情報処理検定

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	1章 ビジネスと情報処理 1 ビジネスと情報処理 2 ビジネスとコンピュータ 3 ハードウェアとソフトウェア 4 情報モラルとセキュリティ管理 2章 表計算ソフトウェアの活用 1 ビジネスと表計算ソフト 2 表計算ソフトウェアの基本操作 3 関数の利用 4 グラフの利用と作成 5 表計算ソフトの応用 6 データの検索 7 報告書の作成	ビジネス社会における情報活用の重要性について理解する。 パソコンの基本的な操作とその機能について理解する。 互いに気持ちよくネットワークを利用するためのマナーについて考える。 エクセルの基本操作を理解する。 関数を用いて、様々なビジネス情報を加工し、有用なビジネス情報を導き出す技術を習得する。 表のデータを基に、グラフを作成するなど、ビジネス情報を分かりやすく、見やすくする技術を習得する。 表計算ソフトを活用した報告書の作成方法を習得する。
2 学期	3章 ビジネス情報と情報通信ネットワーク 1 情報通信ネットワーク 2 ビジネスと情報通信ネットワーク 3 情報の収集とレポートの作成 4章 データベースソフト利用の基礎 1 ビジネス情報とデータベース 2 データベースソフトの利用 5章 ビジネスの計算と表計算ソフト 1 ビジネスの計算と表計算ソフト 2 金融に関する計算 3 証券投資に関する計算	私達の生活で情報通信ネットワークがどのように利用されているか考える。 データベースに関する基礎・基本を理解する。 エクセルの機能の一つであるデータベース関数を使い、ビジネス情報の管理や活用の基本について理解する。 データベース関数を多用したビジネス情報の加工について理解する。 表計算ソフトを活用した、ビジネスに関する計算の方法を習得する。 金融と証券投資の計算方法を習得する。
3 学期	情報処理検定演習	情報処理検定取得を目指す。